



舞鶴が池と調査区全景  
写真左下が道路跡の調査区、右下側に池・中島の調査区があります。



石敷  
石の大きさは直径10センチほどが大多数で、小さいもので2〜3センチ、大きいものは20〜30センチほどです。石は、ばらまいたのではなく、敷き固められた様子です。



池の調査状況  
中島の南東側の調査区です。左上は昭和49〜50年に整備した岸で、右手前はこの下に残る12世紀の岸の様子です。

発掘最前線 ⑩  
平泉を掘る  
観自在王院跡第14次調査

石を敷き詰めた道路が見つかる  
観自在王院跡の調査は本年度、道路跡と池の調査を行いました。道路跡は観自在王院の西側で、毛越寺との間にあります。昭和52年の調査で道路跡とともに車宿(貴人が乗る牛車の駐車場)が見つかっており、現在はその範囲に石を敷いて整備しています。今回は、車宿の北側を調査し、12世紀の道路跡を再確認しました。道路には直径10センチほどを中

心に石が敷き詰められていました。  
観自在王院の池は「舞鶴が池」と呼ばれています。池の南東側3カ所と、中島の南東側も調査しました。12世紀の岸と、その上には、昭和時代の整備の際に作られた岸も確認できました。  
毛越寺周辺は、これまで町内で見つかった道路と比較し、非常にきれいに整備されていることが分かりました。当時の玄関口を彩るにふさわしい道路跡といえます。



石敷道路  
見つかった範囲は東西9センチ、南北25センチの範囲です。

平泉の玄関口にふさわしい、立派な道路だケロ!



©2013岩手県 ケロ平  
designed by センウェンルー

千葉勇太朗さん(平泉中3年)が入賞  
中学生人権作文コンテスト県大会

平泉中学校3年の千葉勇太朗さん(7区)＝写真右＝は、第41回全国中学生人権作文コンテスト県大会で「水沢人権擁護委員協議会長賞」を受賞しました。表彰状伝達は昨年12月13日に平泉中で行われ、町内を担当する人権擁護委員の八重樫結花さんから千葉さんに賞状と副賞(図書カード)が送られました。千葉さんは作文執筆を振り返り「いじめを生まないため、学級の雰囲気をよくすることが大事」と語りました。



スポ少「フエンテ平泉」がカラーコーン寄贈  
平泉保育所、町立幼稚園に

町内のサッカースポ少「フエンテ平泉」(千葉卓代表)は昨年12月23日、二葉きり園(平泉保育所・町立幼稚園)に屋外用のカラーコーン20本を贈り、園のサッカー教室などでの活用に期待を込めました。園児たちの活動の幅を広げてもらいたいと寄贈を決め、同日は千葉代表や北峯智善監督、小野宏之さんが園を訪問し、園児にカラーコーンを手渡しました。北峯監督は「サッカーを楽しんで」と園児に呼び掛けました。

今年1年の飛躍を誓う

町新年交賀会に町内外から約100人出席

令和5年町新年交賀会(町、町議会、平泉商工会、いわて平泉農協主催)は1月6日、平泉レストハウスで開かれ、出席者が今年1年の飛躍を誓い合いました。青木町長と高橋町議会議長があいさつ。青木町長は「イベントをコロナ禍前の状況に戻すのは容易でないが、インパクトを加え魅力を作ることが重要」と話しました。地元選出国會議員や県議ら来賓の祝辞に続き、千葉力男平泉観光協会長の発声でお茶で乾杯しました。



交通事故防止へ活動の決意新たに  
町交通指導隊初点検

町交通指導隊(千葉慶信隊長、隊員9人)の令和5年初点検は1月11日、役場庁舎前で行われ、隊員が活動に取り組む決意を新たにしました。隊員8人が、青木町長や千葉隊長、上野太郎一関警察署長らから装備の点検を受けました。青木町長は「安心できる地域づくりのため力添えをお願いしたい」と呼び掛け、千葉隊長は「隊員としての誇りと信念で、町民の安全・安心のため誠意を持って活動する」と述べました。